

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 5	16	百日咳	↑ 1	0
RSウイルス感染症	↓ 128	196	ヘルパンギーナ	↑ 20	16
咽頭結膜熱	↑ 9	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 4	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑ 45	43	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 202	250	流行性角結膜炎(はやり目)	↑ 6	5
水痘	↓ 42	44	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 35	48	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑(りんご病)	↑ 4	0	マイコプラズマ肺炎	↓ 1	5
突発性発しん	↓ 41	52	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↑ 1	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所		52	4	18	32	14	4	2	17		3	1		6				1		1
山鹿保健所		3			12		1		4		1		*	*						
菊池保健所		30	1	7	45	7	12	1	8	1	3									
阿蘇保健所					8						1		*	*						
御船保健所					12								*	*						
八代保健所		10		5	15	8	4		2		2									
水俣保健所		9			1				2				*	*						
人吉保健所		4	1	9	22	5	8		1			3	*	*						
有明保健所		3	2		32	6	2		2		1									
宇城保健所	5	14	1	2	13	2	3	1	2		1		*	*						
天草保健所		3		4	10		1		3		8									
計	5	128	9	45	202	42	35	4	41	1	20	4	0	6	0	0	1	0	1	

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	5							1					3									
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	128	11	24	64	21	8																
咽頭結膜熱	9	1		4	1				1					1	1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45			2	1	7	3	8	6	7	4	1	5		1							
感染性胃腸炎	202	3	21	34	17	16	15	14	11	11	6	5	26	4	19							
水痘	42		3	9	15	4	4	3	2	1	1											
手足口病	35		2	15	9	4	3			2												
伝染性紅斑	4			3								1										
突発性発しん	41		17	20	3	1																
百日咳	1																					
ヘルパンギーナ	20		1	3	3	2	3	3				1	1	3								
流行性耳下腺炎	4					1		1				1										
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	6			1			1						1	1						1	1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	1			1																		
クラミジア肺炎	0																					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1			1																		

水痘の定期予防接種を受けましょう

水痘は予防接種により予防可能な病気です。平成26年10月1日から水痘ワクチンが定期接種となり、無料で受けられるようになりました。例年、冬から初夏にかけて水痘の発生が多くみられ、今年もこれから報告数が増えてくと予想されます。定期接種対象者のお子さんは確実に接種を行い、水痘を予防するように努めましょう。

感染経路
飛沫感染、接触感染や麻しんと同じように空気感染もあり、ヒトからヒトへ感染します。

症状
感染後、約2週間の潜伏期を経て、かゆみを伴う発疹が全身に出現します。発疹は次第に水泡となり最終的に痂皮化します。また38度前後の発熱が2~3日間続きます。一部に皮膚の二次性細菌感染、脱水、肺炎、無菌性髄膜炎や脳炎などの中枢神経合併症といった重篤な合併症があります。

予防方法
患者さんとの接触を避けることと、予防接種があります。
○定期予防接種対象者: 生後12月から生後36月に至るまでにある者
○接種回数: 3ヵ月以上の間隔をあけて2回接種
※平成26年度に限り、生後36月から生後60月に至るまでの間にある者を対象とし、1回接種します。
※接種の際には、お住まいの市町村やかかりつけの先生にご相談ください。